



動物レスキュー通信

2016年 2月 第33号 (平成28年2月1日発行)

発行元 一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく)：詩月財団 理事長
愛玩動物飼養管理士 一級
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

どれだけ知つて
ネ「ちゃん」

ネ「ちゃん」の魅力をあげると、そのひとつにキラキラと光る神秘的な瞳があると思います。しかしじつと瞳を見つめると、ネ「ちゃん」は目をそらしてしまった子が多いはず。なぜなら、ネ「ちゃん」が目を合わせるという事は戦いを意味しているからです。ネ「ちゃん」は飼い主さんと戦おうとはしませんので、目をそらすのです。そんなネ「ちゃん」の瞳をよく見ると黒目がまんまるで大きい時と、縦長に細い時があるはず。この違いがあるからこそ、ネ「ちゃん」は人の少しの光さえあれば暗闇でも物が見えるのです。見るためには必要な明るさ、なんと人間の約6分の1でいいそうです。暗闇の中では光をたくさん取り入れるために瞳孔が大きく広がります。こうやって暗闇の中でも活動できるのです。しかし視力自体は人間の10分の1ほどだと言われています。ですから目だけで全てを判断するのはとても苦手なのです。時としてネ「ちゃん」が首をかしげているようなしぐさをしている時は、見えにくいものを見るように、目の角度を調整して見ようとしているのかもしれません。けれど飼い主さんにとっては、その仕草はとってもかわいいものなので、癒されますよね。又、視力だけでなく色の見え方も人間とは違います。色を感じる視細胞は人間の5分の1ほどの機能で、そのため、飼い主さんの目には鮮やかな色に見えるのも、ネ「ちゃん」にはくすんで見えているのです。さらにネ「ちゃん」は赤色を感じる細胞がかけていますので、赤色は灰色に近い色に見えているようです。ネ「ちゃん」の視力の悪さを補っているのがヒ

「ちやんの体の事



やんの体の事

ますか？

げだとれます。ヒゲはネ「ちやん」という感覚器。暗闇の中を歩く時や細いところを通る時はヒゲをフル活用し、周りの状況を把握する事ができるのです。視力や色を見分ける力は飼い主さんよりも低いですが、動体視力はどうでも優れています。もともと肉食で狩猟動物ですので、動いているのがあれば50cm先でも捕まえる事ができ、1秒間に4-5mといふわずかな動きでも感知できるのです。



超音波が聞こえる聴力

次に耳を観察してみましょう。ネコちゃんの耳はとても前に横に後ろにと自由自在に、とてもよく動きます。その耳の聴力は人間の3倍以上。聴力の優れている「ンちんでもかないません。低音の聞きどける能力は人間七つのやんもネコちゃんも大きな違いはないのですが、高音を聞きとる能力はずば抜けているのです。それはネコちゃんが狩猟動物だといつ事に関係しています。ネコちゃんの獲物であるネズミなどのげつ歯類の多くは2万~9万ヘルツの超音波の鳴き声を出します。その獲物であるネズミなどの居場所を探すためにネコちゃんの耳は、どんどん進化していくようです。それと関係するように飼い主さんの声でも男性の低い声よりも女性の声の方が聞き取りやすいため、よく反応するそうです。何万ヘルツと言つ超音波が聞こえるだけではなく、ネコちゃんの耳は両耳を別々の意思で出し入れする事ができるのでワンちゃんのように床に爪を当たる」となく静かに歩く事ができます。そして肉球からはにおいの分泌物が出ているので、歩くところを自分の繩張りとしてアピールできるのです。そして最後はしつば。ネコちゃんのしつばには、とても感情が表れています。ネコちゃんの気持ちは運動して動くので、しつばを観察していれば何を考えているのかだんだんわかってきます。しつばで返事をしてくれたり、イライラしたり動揺したり、状況に合わせて観察していくと、気持ちが理解できるようにならってきますよ。こうやってネコちゃんの事を少しでも知つてもうう事でネコちゃんと心が通じ不幸なネコちゃんがいなくなると信じてこれからも活動してまいります。(詩月)